

XJR400用エンジンの紹介

Introduction of Engine for XJR 400

鈴木 正人*

Masato Suzuki

1 まえがき

1989年頃よりネイキッドと呼ばれるスポーツバイクの人気が盛り上がって来た。こうした背景をうけて、我社として多くの議論を重ね「新時代のネイキッドスポーツ」として新設計の空冷エンジンを搭載したXJR400を開発した。

このモデルでは

- (1)ファイティングスピリットのあるモーターサイクルらしいスタイリングであること。
- (2)走りが楽しいこと

をキーワードに開発を行なった。

2 概要

エンジン構造は図1に示す。外観は力強い機能美と迫力あるデザインを意識し、シリンダ前傾角14°の空冷を選択した。

性能は図2に示す。高回転、高出力で元気の良いエンジン特性を目ざし、並例4気筒 400cc D O

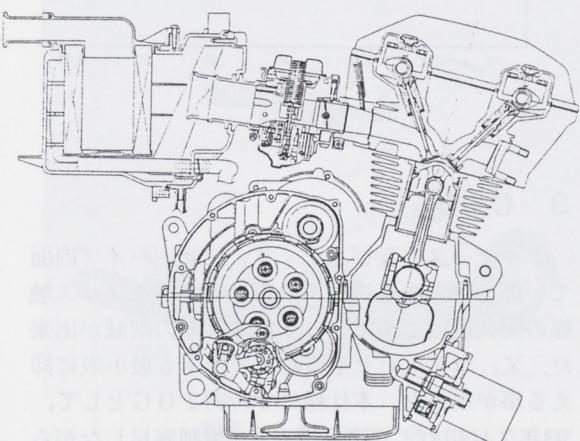


図1 エンジン構造図

H C 4バブルを選択した。

通気抵抗の少ない左右対称形のエアクリーナ、優れた流量係数を誇る吸排気ポート、空冷として高めの圧縮比10.7、動弁系はφ20小径インナーパッド用リフタを採用し軽量化をはかり、クラス上限の53PSを実現した。

「走りの開発」においては、コンセプトに沿ったエンジンフィーリングを実現するために、感性の定量化手法を用い、走行フィーリング評価データを多変量解析プログラムで処理したデータをもとに作り込みを行なった。

3 むすび

1993年のネイキッドスポーツ市場では、かなり高い評価が得られた。今後は市場での情報をもとに、さらに熟成をはかけて行こうと思う。

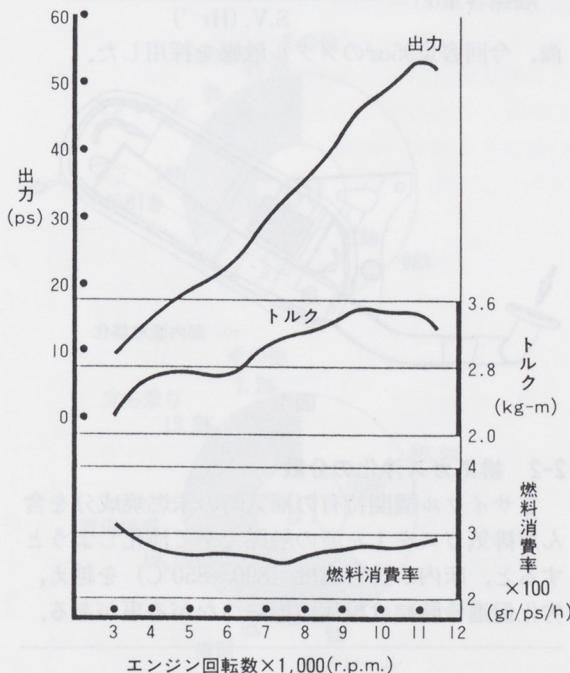


図2 エンジン性能曲線

* モータサイクル事業本部 第4開発部